

令和5年度 桃山小学校努力点研究について

(1) 研究主題

「自分の考えをもち 書き表すことのできる児童の育成」

算数科の学習を通して

(2) 目指す児童像

- 計算練習などを通して、基礎的・基本的な知識・技能の成長を実感し、更なる自分の成長や、生活に生かそうとする思いをもつことができる児童
- 筋道を立てて考えたり、知識・技能を生かして根拠をもって考えたりと、思考力を働かせて数学的活動に取り組み、問題解決の喜びを実感することができる児童研究の内容と方法

(3) 研究の内容と方法

- 算数科における基礎・基本の力を高めるために（知識・技能の向上）

日常実践朝の学習タイムや家庭学習などを利用して、四則計算などに取り組む。継続して取り組むことで計算力などの技能を高め、基礎基本の力を高める。また、以前の自分と現在の自分の計算能力を比較させたり、ふり返らせたりすることで、自分の成長を実感できるようにする。

- 自分の考えをもち書き表す力を高めるために（思考力・判断力・表現力の向上）

重点単元前期・後期それぞれで重点単元を設定し、その単元においては、立式の根拠や見通しなど、自分の考えをもち、書き表すことができるようにする。自分の考えをもたせるために、統的なつながりを想起させたり、視覚的に課題を把握しやすくする掲示物や具体物を用意したりするなどの手立てが必要になる。また、考えを書き表せるようにするために、演算の理由や立式した数字が何を表すかを書いたり、矢印や吹き出しを書きこんで思考の一端を表したりするなど、その単元で児童に何をどのように考えさせたいか、考えさせることができるか、指導者がイメージをもつことが必要になる。児童に書かせたいノートモデルを部会で考えたりするなどの研究に取り組む。